

# 社協だより

同和地区社会福祉協議会

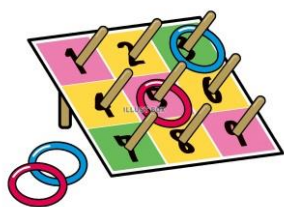
第31号

令和6年3月20日発行

## 同和地区交流行事

7月9日(日) 三滝川河川敷

あいにくの天候の中、社協交流行事が三滝川河川敷で開催されました。残念ながらグラウンドゴルフは中止となりましたが、かわりに体験コーナーが設けられました。その他にも、シューティングや子ども達に人気の輪投げ、童鼓会による諏訪太鼓演奏がありました。今回は初挑戦のポップコーンの実演もあり、食べるほうはもちろん、作るほうもとても楽しそうでした。最後にはみんなが楽しみにしている抽選会で盛り上がりました。蒸し暑い中ではありましたが、年齢問わず話も弾み、とても楽しい交流の場となりました。



# 川あそび

7月30日(日) 三滝川慈善橋付近



好天に恵まれ、とても暑い日でしたが、小さい子どもからお年寄りまで、大勢の方に参加していただきました。堤防の掃除から始まり、待ちに待った金魚すくいの中には、子どもから大人まで川に入り、安全に配慮しながら楽しいひと時を過ごしました。



鰻のつかみ取りは、男性役員が干潟にスコップで穴を掘って場所を作りました。小さい子から順番にグループ分けをし、数分間の制限時間の中で捕まえようとしていますが、小さい手からスルスルと抜けてしまう鰻を、必死に追う子ども達の姿はとても微笑ましいものでした。記者も家族全員でつかみ取りに挑戦し、1匹捕まえることができました。自分でさばいて調理しましたが、肉厚で、脂がのっていて、身もふわふわでとても美味しかったです。土用の丑の日に良い経験と楽しい思い出を作ることができました。



# 敬老会

9月10日(日) 八幡町集会所



33名の方に参加していただき、敬老会が開催されました。



「ななとまお」のピアノとボーカルで、懐かしいポップスや演歌、映画音楽の披露につづき、地域の有志、ラウレアの3人による華やかなフラダンスでは、優雅な動きに、皆さん見入っていました。



日本の伝統的な音楽や演劇で使用される「能管」。八幡町の坂倉雄一さんが、日頃の練習の成果とその歴史についての豆知識を披露しました。社協の大野会長と保田のぞみさんによるサクソ演奏は、聴きなじみのある曲に体を揺らす姿も見受けられました。最後は参加者全員によるふるさとの合唱でしめくりました。地域の出演者の特技を超えた演目に、参加者は充実した時間を共有することができました。



# バス旅行

11月26日 浜名湖方面



少し初冬を思わせる寒い朝でしたが、快晴に恵まれ、親睦日帰りバス旅行に行ってきました。豊田左吉記念館では生家などを見学し、展望台、東屋からはまさに「頭を雲の上に出し」の歌のような、富士山を眺めることができました。



午後からは、航空自衛隊浜松基地内を見学後、春華堂うなぎパイ工場でお買い物を楽しみ、帰路に着きました。ご近所の方と楽しいおしゃべりをして、親睦を深めることができました。



# 防災訓練

12月3日(日) 本町フラザ



吉村減災支援センターの吉村隆センター長をお迎えし、各地で起きている地震被害の大変さ、困難な避難所生活の話を聞きました。この地方でもいつ起こるか分からない震災に備え、避難場所や避難経路の確認や避難所での生活について、改めて家族とも話し合いをしなければと思いました。



# もちつき大会

12月17日(日) 四ツ谷公園



すっきりと晴れた師走らしい寒い日に、四ツ谷公園にてもちつき大会が行われました。今年もつきたてのおもち、お雑煮、昨年から好評のフランクフルトが振る舞われました。ちびっこ達は、大ベテランの方に教えてもらい、楽しくおもちをつきました。中央・同和地区からたくさんの方が集まり、楽しい・おいしいひと時を過ごす事ができました。



# 中央・同和地区大運動会

10月15日(日) 中央小学校

10月15日、中央・同和地区大運動会が中央小学校校庭にて4年ぶりに開催されました。前の晩から雨が降り、当日のお天気が心配されましたが、朝9時半の入場行進の直前に雨があがり、秋晴れの運動会日和となりました。競技は全員でのラジオ体操から始まり、大玉ころがし、大玉運びと続きます。むかで競争では、5人1組で履くむかで下駄が何度も脱げて、笑顔の絶えないレースになりました。総勢180人参加のパン食い競争は、小学生から大人まで参加できる大人気競技です。マラソンレースでは、みなさん顔を真っ赤にして、汗だくになりながら、本気の走りを見せてくれました。今年は町別対抗競技がなくなった代わりに、新しく町別対抗じゃんけん大会が行われました。幅広い年齢の各町代表の選手が大きなじゃけんプラカードを持って対戦し、小さなお子さんが勝ち進む場面もあり、大変盛り上がりました。ぜひ来年もやってほしいという声が多く聞かれました。恒例のビンゴ大会では、リーチでビンゴ待ちになる参加者が続出。ドキドキわくわくが止まらないひとときでした。みなさん、最後には持ちきれないほどの参加賞を抱えて家路につきました。久しぶりの運動会に、沢山の笑顔があふれる一日となりました。



## <子ども達の声>

- ・低学年のお友達と一緒にキック&キックに出られたのが楽しかった。
- ・じゃんけん大会に町代表になって参加できたのがうれしかった。



《編集後記》 コロナウィルスも5類に移行し、ようやくコロナ前の日常がもどりつつある中、今まで止まっていた行事も再び動き出しました。そんな中、2024年元旦には能登半島地震が発生し、改めて自然災害の怖さを感じました。このたよりがみなさまの手元に届くころには桜の開花の声も聞こえる頃かと思いますが、今年も同和地区の皆様にとって穏やかな日々が続きますようにと願っています。 C.1